



奈良県感染症情報

令和元年 第 30 週(7 月 22 日～ 7 月 28 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

手足口病警報発令中です！！

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	6.21	(8.38)	↓	→	↓	↓
2	感染性胃腸炎	2.65	(3.26)	↓	↓	↓	→
3	ヘルパンギーナ	1.82	(1.88)	→	→	→	↑
4	A群溶連菌咽頭炎	1.12	(1.44)	↓	↓	→	↓
5	伝染性紅斑	0.76	(0.68)	→	↓	→	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

手足口病は、2週連続で減少しているものの、報告数は多い状態が続いています。厚生労働省によると、全国の小児科定点からの手足口病の報告数は過去 20 年間で最も多い状況です。引き続き、手洗いの徹底等により感染予防に努めましょう。

ヘルパンギーナは、手足口病と同様に夏期にピークを迎える疾患で、県内の報告数は横ばいですが、やや多い報告数となっています。また、RSウイルス感染症の報告も徐々に増加しています。

手洗い・うがい、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけ、日頃から感染症予防に努めましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

依然として手足口病が流行していますが、流行のピークは過ぎたようです。保育園児に多くみられます。その他の夏かぜでは、ヘルパンギーナが5才以上に、咽頭結膜熱は3才前後にみられます。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

手足口病の流行が続いている。

ヘルパンギーナ、感染性腸炎、水痘も流行中、流行性耳下腺炎が一例あった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

夏休みに入っても手足口病の大流行が続く。ヘルパンギーナや伝染性紅斑も流行している。

夏カゼ由来と思われる胃腸炎も増加してきた。ウイルス性腸炎とみられた中に細菌性腸炎もあり、要時細菌検査も必要である。

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ R1 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均

